

在住外国人と市長との「“本気”で語ろう会」 会議録

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 日 時 | 平成30年 5月21日（月） 18:30～20:00まで |
| 場 所 | 鹿屋市役所 本庁 3階 庁議室              |
| 参加者 | 在住外国人 12名（鹿屋市国際交流員含む）        |
|     | 市長、公室長 外                     |

意見交換

①外国人が住みやすい鹿屋市とは

- ・生活する上で困っていることは何か？
- ・どのようなサポートがあれば助かるか？

②外国人から見た鹿屋市の魅力と課題について

- ・鹿屋市の魅力は、どのようなところか？（場所・食べ物・景色など）
- ・どのような課題があるか。
- ・外国人が喜ぶおもてなしは何か。

○在住外国人の声

- ・車がないとスーパーなどに出かけることができない。
- ・車の免許を持っていないため、無料のバスがあったら嬉しい。  
交通機関が充実すれば、日本人に会える機会が増える。また、ストレス解消にもつながる。
- ・外国人が自国の品物を購入できるお店が鹿屋市内に増えたらいいと思う。
- ・家を借りるときに、日本人の保証人が必要である。  
初めて日本に来た外国人は、保証人がいないので、家を借りることができない。  
ルールを変更するか、市が保証することはできないか。
- ・夜間急病センターに行った際、痛み止めをもらったが効かなかったため、薬を求めたが「ない」と言われた。歯痛などはいつ起こるかわからないため、救急病院は、対応できる薬を用意しておく必要があると思う。
- ・日本語のボランティア教室がほしい。日本語をもっと練習したい。  
⇒ 去年は、技能実習生等に声を掛け、日本語教室を12回開催した。  
平日の開催であったため、参加できない方がいたことから、今年度は、講師と土曜日の開催等について協議をしている。（地域活力推進課）
- ・市役所からの案内（郵便等）が、日本語なので内容が分からない。
- ・鹿屋のホームページの中に1ページだけでも外国語（英語）のインフォメーションページがあれば良いと思う。
- ・私は、漢字が読めないため、子どもが通っている学校でPTAの役員決めがあった際に私には難しいと主張するのだが、他の保護者に「役員をやらないとだめ」と言われてしまった。
- ・外国人が役員をするのが難しいことを理解してほしい。役員になったとしても、何をしていたらいいかわからない。色々な書類など、漢字で書いてあり内容が分からない。

- ・在住外国人のSNSグループ（LINE等）を作ったらどうか。
- ・鹿屋の生活情報が掲載されたが地図がほしい。
- ・田舎の人の気持ちが嬉しい。それが鹿屋のいいところ。
- ・鹿屋にはどこでもトイレがあるのがいい。（無料、トイレットペーパー付）  
トイレのおもてなしが日本はすごい。
- ・焼き芋、カンパチ、鳥刺し、冬の時期の鍋、さつま揚げ、唐芋のレアケーキ、漬物、野菜がおいしい。
- ・鹿屋が今後、外国の皆さんを受け入れるために、外国人を集めて、歌唱大会やダンスコンテスト等のイベントを行っても面白い。自分達の文化を見てもらいたい。
- ・中国人観光客の「爆買い」が少なくなり、これから観光にくる中国人の目的は、日本の文化に触れることである。そういった意味では鹿屋は山も海もあり農業や畜産業も豊かなので、様々な体験ができる施設があればいいと思う。  
鹿児島島の港に中国からの観光客が何千人と降りてくるので、桜島を見て、垂水から鹿屋まで体験できるものがあればいいと思う。しっかりした受け入れ態勢の構築や民宿をもっと増やした方がいい。

#### ○市長

- ・鹿屋市は「国際交流のまち」ということで、高隈にカピックセンターや民族館があり、小学校の英語教育にも力を入れている。
- ・鹿屋市が外国人にとって住みやすいところなのか、住みにくいのであれば何が問題なのか、我々はそういった情報を得る努力をしていなかったと思っている。
- ・鹿屋で暮らしていて、不便な点、良い点などを教えてもらい、できることは対応していきたい。また、鹿屋の魅力についても教えてもらいたい。
- ・色々な意見を聴くことで、一緒に住み良いまちにしていきたいと思っている。
- ・住宅の件に関しては、外国人だから保証人が必要ということではないと思うが、鹿屋市で言えば国際交流協会やフィリピンの方々のコミュニティのサポートがあると思うが、市に相談してもらえれば、宅建協会等に話をすることができるかも知れない。
- ・日本語の勉強については、様々な意見があったので、市で企画をして情報を提供したい。日本語教室については、外国人の皆さんの意見を聞いた上で、出席率の良い日に開催するようにしたい。また、日本語にあまり触れる場が少ない外国人（主婦等）への対応も行う必要があると考える。
- ・普段、外国人の皆さんが話し合える場をつくるべきだと思う。
- ・鹿屋市には外国人が500人位しかいないのだから、組織をしっかりと情報共有できるようにするべきだと思う。
- ・大きな災害が起こったときの行政情報を外国人の皆さんにきちんと伝えられるうにしなければいけない。肝心な情報を届けられるかが問題だと思うので、必要な情報をどのように届けていくのかを考えたい。

- 外国人向けの「病院、バス停、外国人が集まる場所」等が記載された生活便利帳的な地図は必要であると考え。外国人の皆さんがほしい情報を意見してもらい、市が地図を作成し印刷しても良い。
- 市民が外国の方達と交流できるように、リナシティで行われるイベント等とあわせて外国フェアを開催しても良いと思う。
- 外国人の皆さんと話をし、生活をするにしても遊ぶにしても学習するにしても様々な困難を克服しながら生活をされている事を改めて感じた。
- 本日いただいた意見は市でしっかりと受け止めて、具体的に何が出来るのかということ協議して前向きに対応していきたい。